

令和 4 年度

全国学力・学習状況調査の
結果分析と今後の取組

令和 4 年 10 月
大紀町教育委員会

目 次

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果分析と今後の取組について	1
七保小学校の結果分析と今後の取組について	2
大宮小学校の結果分析と今後の取組について	3
大紀小学校の結果分析と今後の取組について	4
錦小学校の結果分析と今後の取組について	5
大宮中学校の結果分析と今後の取組について	6
大紀中学校の結果分析と今後の取組について	7

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

令和4年10月

大紀町教育委員会

本年4月19日に「全国学力・学習状況調査」が、実施されました。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象にして行われ、その結果が、8月に文部科学省から公表されました。

大紀町教育委員会では、各校の代表者等で組織する大紀町学力向上推進委員会を設置し、町内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証して、その改善を図っています。また、各校においても調査結果を受けて授業改善を進めるとともに、児童生徒の実態に応じた、実効性の高い教育活動を模索し、取り組んでいるところです。学力の定着と向上には、ご家庭ならびに地域の皆様の協力が不可欠です。各校の分析結果を「強み」「弱み」として表すとともに、改善に向けた方策や皆様方をお願いしたい事項をまとめましたので、ご協力くださいますようお願いいたします。

(1)教科に関する調査結果から

①小学校について

漢字や計算等の基礎基本を問われる問題では、正答率が高い傾向があります。また「無回答」が少ないことから、途中で諦めることなく、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が伺えます。しかし、「思考力や判断力、表現力」を問われる問題には、課題がありました。これからも、基礎基本の定着を一層進め、わかりやすく楽しい授業を展開し、子どもたちが仲間と話し合い協力し合いながら課題を解決していく授業を目指します。

②中学校について

中学生についても、漢字や計算等の基礎基本を問われる問題の正答率が高く、学校や家庭学習で繰り返し取り組んできた成果が表れています。しかし、論理的に思考し、表現する力に課題が見られます。今後も、子どもたちが自ら学ぶ意欲を身に付けられよう一人一台のタブレット端末をさらに有効に活用しながら、協働的に課題を解決していく授業を目指します。

(2)質問紙調査の結果から

これまでの家庭の取り組みにより、早寝、早起き、朝ごはんの基本的な生活習慣が身に付いてきている様子が伺えました。朝食を毎日食べている児童生徒は、食べていない児童生徒に比べ、正答率が高い傾向があり、基本的な生活習慣と学力との関係が見えてきました。また、家庭学習や読書の時間が大幅に改善され、学習習慣、読書習慣が身につけている傾向が見られます。しかし、個人差はあるもののゲームやスマホにかかる時間も全国平均に比べ長い傾向があります。

読書は語彙力や思考力、想像力等を高めるうえで不可欠です。さらなる読書習慣の定着に向け、図書室の環境整備を進め、子どもたちが様々な本と出会い、学ぶことができるよう蔵書の拡大に努めます。

七保小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること
 - ・漢字を文の中で正しくつかうこと
- 【弱み】・目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けること
 - ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

②算数科について

- 【強み】・図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること
 - ・グラフから、項目間の関係を読み取ること
- 【弱み】・複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述すること
 - ・場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること

③理科について

- 【強み】・実験や観察の技能
 - ・実際に実験や観察で得た結果を整理し、自分の考えをもつこと
- 【弱み】・学習する用語や概念の定着
 - ・資料から必要な情報を取り出して、結果の予想や考察をすること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・自己有用感が高い
 - ・学習に対する興味・関心が高い
- 【弱み】・生活習慣に課題がある
(テレビ、ゲーム、SNS、動画視聴などの時間が長い傾向が見られる。)

(3) 全体を通して

国語、算数共に漢字やグラフの読み取り、計算等の基本的な学力が身についています。また、児童は、日頃から自分の考えをもったり、友だちと意見交流を通して深めたり広げたりする活動に意欲的に取り組んでいることが質問紙調査の結果からもわかりました。一方で、複数の情報について、比較したり目的に応じた資料を見つけ考えたりする問題には課題がありました。

今後は、漢字や音読、計算など基本的な学力のさらなる育成を進めるとともに、「読むこと」における思考力、判断力、表現力の向上に努めるために、七保小学校全体で、物語の主題を明らかにさせたり、説明文の構成を捉えて要旨を把握させたりするような場面を、引き続き教師が意図的に学習に取り入れていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

子どもたちの自己有用感や地域への行事への参加が高いことから、家庭や地域において子どもたちが充実した日々を送っている様子が伺えました。総合的な学習の時間では意欲的に学習に向かう児童が多く、他の教科も含め日頃の地域学習への協力によるところが大きいと思われます。

課題の1つであった読書については改善しつつありますが、十分であるとは言えません。テレビやゲーム、SNSなどの関わり方も含め、家庭での過ごし方を話し合うなどして、よりよい生活習慣が身に着くよう、ご協力をお願いいたします。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

（１）教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・文章の概要を理解し、文章の構成や意味を捉えること
 - ・文章中の表現の効果を見出し、その効果を考えること
- 【弱み】・与えられた条件に従って自分の考えを文章にして書くこと
 - ・文章に対する感想や意見を伝え合い、文章の良いところを見出すこと

②算数科について

- 【強み】・基礎的計算能力が身についていること
 - ・例にならって、言葉と数を用いて計算の仕方を自分で説明すること
- 【弱み】・割合と量との関係や割合の意味についての理解や計算
 - ・最小公倍数の理解と計算

③理科について

- 【強み】・実験器具や方法、観察記録の読み取りなど、実験観察の技能や表現
 - ・実験結果や自然事象を捉え、自分の考えを記述すること
- 【弱み】・実験結果のデータを基に、データを用いてその理由を説明すること
 - ・光の進み方に関する理解

（２）質問紙調査の結果から

- 【強み】・早寝、早起き、朝ごはんなど、家庭での基本的生活習慣が定着している。スマホやゲームの使用時間は短く、読書が好きである。
 - ・自然の中での遊びや地域行事への参加など、自然や地域との繋がりが強い。
- 【弱み】・難しいことに失敗を恐れず挑戦したり、最後までやり遂げようとしたりする意識が弱い。
 - ・将来の夢や目標を持てていない児童が多い。

（３）全体を通して

学習においては、どの学年も落ち着いて授業に取り組む姿が見られ、算数の計算能力や国語の読み取りなど、基礎的な学力は着実についてきています。現在、学校では、自分の考えを筋道立てて（論理的に）表現できる力をつけることを重点に置き、低学年から高学年まで、全校的に授業改善に取り組んでいます。また、学習内容が日常生活に結び付いてこそ本当の力である、ということも意識しています。

（４）家庭や地域へのお願い

家庭での生活習慣は安定しています。また、地域や自然との繋がりが強いです。基本的な生活習慣の確立はすべての基盤になります。引き続きよろしくお願いします。ただ、家庭学習の時間や計画性については、高い児童と低い児童の二極化が見られるので、家庭学習の習慣化への取組をお願いします。子どもの成長には、学校・家庭・地域の連携が一番大切です。今後も子どもの成長を真ん中に置いた信頼関係と支援をしていただきますようお願いします。

大紀小学校の結果分析と今後の取組について

（１）教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・ 漢字、送り仮名や手紙の書き方の理解
 - ・ 文章の内容を捉え、自分の意見を書くこと
- 【弱み】・ 条件作文において、文中からの引用を使って、作文すること
 - ・ 問題文を正しく捉えること

②算数科について

- 【強み】・ 参考文章にならって、式の意味を答えること
 - ・ 百分率と分数の関係を表すこと
- 【弱み】・ 何を問われているのか、正しく問題文を捉えること
 - ・ 割合の活用問題への対応

③理科について

- 【強み】・ 自身が実験観察したことを想起し答えること
 - ・ 問題を解決するために必要な観察の視点を持つこと
- 【弱み】・ 実験器具の名称を答えること
 - ・ 実験方法を検討し、自分の考えを適切に表現すること

（２）質問紙調査の結果から

- 【強み】・ いじめはいけないことであるという意識が強い。
 - ・ 人の役に立ちたいという考えが強い。
 - ・ みんなと協力するのは楽しいと感じている児童が多い。
- 【弱み】・ 家で読書をしたり、新聞を読んだり、活字とふれあう機会が少ない。
 - ・ これまでのＩＣＴの活用機会が少ない。

（３）全体を通して

既習事項を覚えていても、問題が少しひねってあったり、いつもと違う問われ方がされていたりすると、正答できない傾向があります。いろいろなパターンの問題や活用問題に取り組ませていくことの必要性を感じます。

学習だけでなく、友だちとの関係や最高学年としての行動なども大切だと認識し、頑張りたいという気持ちを強く持っています。今後は授業だけでなく、家庭学習や自学への取組など、主体性を持って学ぶ力をさらに育成していきます。

現在、全校で「分かる授業」に向かう授業改革を進めるとともに、様々な条件に応じて文章を書く力を育成するためのプログラムに低学年から取り組んでいます。

（４）家庭や地域へのお願い

本校では学校教育目標を「わたしが創る よりよい学校」と掲げ、子どもたちの自主性を大切に教育活動に取り組んでいます。その中で、児童会や委員会を中心に「自分たちで考え、計画し、実践する」という流れを大切にしています。子どもたちの主体性の育成に向け、ご家庭や地域でもご理解、ご協力をお願いします。

錦小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・文章の構成(いつ、どこで、だれが等)を意識して読むことができていること
・問題の意図を捉えるため、文章をしっかり読む習慣が身に付いていること
- 【弱み】・「引用する」という設問の意味が把握できていないこと
・文章全体の構成に着目した捉えができていないこと

②算数科について

- 【強み】・プログラミングソフトを用いた、今までのいろいろな図形を描く取り組みが活かされていること
・記述式の解答の正答率が高いこと
- 【弱み】・日常生活の中で「割合」や「見積もり」を思考する実体験が少ないため、その概念についての理解が不十分なこと

③理科について

- 【強み】・観察や実験などの実体験を通して身につけた知識の活用ができていること
・実際の状況をしっかりイメージした解答ができていること
- 【弱み】・観察の「気づいたこと」から、次につながる課題を見つけだせないこと

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・起床、朝食、就寝などの規則正しい生活習慣が身についている。
・携帯電話等の使い方について、家に人と約束した使い方ができている。
・自分で決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 【弱み】・家庭学習の習慣化があまりできていない。
・家庭で新聞を読む機会が少ない。

(3) 全体を通して

本校では、各教科における『学び合い・やりぬく子の育成』に向け、具体的に「主体性・協働性の育成」「表現力・対話力の育成」「学びに向かう合う力の育成」に取り組んでいます。それらの力の育成には、複式学級であるが故の「わたりの授業」が効果的であることが分かってきました。その一方で、自分の気持ちや考えを特に文章で表現しにくいという課題も見つかり、今後は書くことに重点をおいた「作文」や「日記」の取り組みを重点化して進めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ・今後も引き続き、早寝早起き等の規則正しい生活習慣の維持をお願いします。
- ・与えられた課題だけではなく、自主的に自身の課題への取り組み、知識を広げるなど、家庭学習の充実と習慣化をお願いします。
- ・家庭学習については、今後タブレットの持ち帰りによるその活用もいっそう進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

大宮中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査から

①国語科について

- 【強み】・小学校5年生までの漢字については定着している生徒が多いこと
・書写において文字のバランスを考えることができる生徒が多いこと
- 【弱み】・発表やスピーチなど場面に合わせた発表原稿を書く力が弱いこと
・文章の主旨や資料の内容を読み取り、条件を満たしてまとめる力やあらすじをまとめる力が弱いこと

②数学科について

- 【強み】・資料を比較、分析し理由を説明すること
・根拠が明確に示された問題についてはできる生徒が多いこと
- 【弱み】・関数分野への苦手意識が強いこと
・情報量の多い問題で、必要な数値等の情報を読み取ることが苦手なこと

③理科について

- 【強み】・学習内容と日常生活との関わりを感じられる内容について、定着している生徒が多いこと
- 【弱み】・用語などの基礎・基本の理解と定着
・問題の意図や問題から必要な情報を正確に読み取ることが苦手なこと

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・朝食を毎日食べている、同じ時刻に起床・就寝している生徒の割合が高く、規則正しい生活ができている。
・自分でやると決めたことはやり遂げる、家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した生徒の割合が高い。
- 【弱み】・携帯やスマートフォン等を使用し、ゲーム、SNS、動画視聴をする時間が、一日あたり4時間以上と回答した生徒の割合が高い。
・自分にはよいところがある、地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した生徒の割合が低い。

(3) 全体を通して

生徒は、概ね規則正しい生活が送れており、落ち着いた環境の中で授業に参加できています。基礎・基本を重視した授業改善や一人ひとりが認められる仲間づくりの取組を進めるとともに、地域や社会とかかわり将来の夢や仕事について考えさせる指導を充実させることで、更なる学力向上に努めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

ゲーム、SNSや動画視聴等、学習以外で携帯やスマートフォン等の使用時間が増加傾向です。インターネットを正しく安全に利用するため、ご家族で話し合い、家庭内でのルール等を再確認してください。また、家庭学習の習慣化を図り、一人一台端末を使用した自主学習の指導を行っています。ご家庭でも見守りをお願いします。

これからも大宮中学校は、子どもの可能性や良さを引き出し伸ばしていく取組を継続していきたいと考えておりますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

大紀中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

- 【強み】・真面目に問題に取り組み、考えて解答する姿勢を持っていること
 - ・書く問題を無解答で終わらせず、書こうとする姿勢を持っていること
- 【弱み】・難しい漢字の使用を避けたがること
 - ・文章を論理的に整理して読む、書く力が十分定着していないこと

② 数学科について

- 【強み】・最後まで真面目に取り組めること
 - ・知的好奇心が強いこと
- 【弱み】・題意の読み取りが正確にできないこと
 - ・問いに正対した答えの文章が書けないこと

③ 理科について

- 【強み】・「粒子」「地球」を柱とする領域で、正答率が全国平均より高いこと
 - ・「粒子」「地球」を柱とする領域の選択式・短答式問題の正答率が高いこと
- 【弱み】・「エネルギー」「生命」を柱とする領域で、正答率が低いこと
 - ・2つの事柄に関連付けて答える記述問題で、片方しか書けず両方満たして書けている生徒の割合が低く、記述問題に無解答率が高いこと

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・将来の夢や希望を持ち、失敗を恐れず挑戦しようとする力がついてきている。また、人が困っている時は進んで助ける。いじめはどんな理由があってもいけない等、思いやりがあり、規範意識が高い。
 - ・地域行事に積極的に参加し、地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒の割合が高く地域を大切にしている。
- 【弱み】・動画やSNSに費やす時間が長く、計画的に学習に取り組む時間が短い。
 - ・授業でPCやタブレットなどのICT機器を使って調べたり、意見交換する場面での活用頻度が低い。
 - ・一日当たりの読書時間が短い。また、新聞をほとんど読んでいない。

(3) 全体を通して

基本的な生活習慣が確立し、規範意識も高く将来への夢や希望も持っている生徒の割合が高いです。また、落ち着いて授業が受けられ、学習意欲も高いです。

読解力に課題があることが分かってきました。全ての授業を通して読解力を育む指導に重点をおき取り組みます。また、ICT機器を活用した授業を推進します。

(4) 家庭や地域へのお願い

家庭学習の時間は昨年より改善されました。今後は学力向上に繋がる学習内容の工夫が必要です。動画やSNSに費やす時間が依然として長く改善が必要です。

自己肯定感を高め、あいさつができる子どもを育みたいと考えています。今後も家庭での励ましの声掛けや見守りをお願いします。